

岩手県警察音楽隊 演奏披露



また、この日は演奏会だけでなくパソコン機器やモニターを使った運転シミュレーター体験や、パトカー・白バイなどの展示も行われ、貴重な体験が詰まった一日となりました。

岩手県警察音楽隊の皆様は、11月9日(土)に盛岡市民文化ホールにて定期演奏会を開催するそうです。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

7月30日(火)、上郷地区センター体育館にて、岩手県警察音楽隊の皆様による演奏会が開催されました。岩手県警察音楽隊は昭和40年に発足し、隊長以下26名の警察官・警察事務職員で編成されています。

当日は上郷町内外から約200名のお客様が集まり、音楽隊の方々が奏でる美しい音色に耳を傾けていました。

コミュニティ かみごう

発行
上郷町地域づくり
推進協議会
令和6年9月5日
【第408号】



また、この日は演奏会だけでなくパソコン機器やモニターを使った運転シミュレーター体験や、パトカー・白バイなどの展示も行われ、貴重な体験が詰まった一日となりました。

岩手県警察音楽隊の皆様は、11月9日(土)に盛岡市民文化ホールにて定期演奏会を開催するそうです。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

夢産直かみごう ざっこ祭り開催

上郷町地域づくり推進協議会の協賛により、7月28日(日)に夢産直かみごうで「ざっこま

花いっぱい運動



6月に毎年恒例の花いっぱい運動を実施し、皆様のおかげで上郷町は彩り豊かになりました。花壇の整備や花の植栽にご協力いただきありがとうございました。



清水川公民館にて 防災について学ぶ

7月20日(日)、清水川公民館において地区別防災研修会が開催されました。この研修会では清水川周辺の災害警戒区域を



確認し、災害発生時の避難場所と避難経路について参加者全員で話し合いました。特に、地震災害と豪雨災害の場合で避難場

また、最近の豪雨の状況を踏まえ、大雨の予測がある場合や警報が発生した場合の避難行動を時間ごとに記入する「マイタイムライン」の作成も推奨されています。このような取り組みによって、地域住民の安全を確保し、迅速な避難行動を促進することができそうです。

防災は、日常生活の中での準備が重要です。地区別防災研修会を希望する地区は事務局までご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。

■上郷町予定 (8月～9月)

8月	22日(木)	第3回 敬老会実行委員会
	25日(日)	遠野市民野球大会
	26日(月)	官公署連絡会議、夜間パトロール
9月	5日(木)	上郷しらかば会、文書配布、
	8日(日)	上郷町 敬老会
	19日(木)	文書配布
	21日(土)	上郷しし踊り 遠野まつり参加
	30日(月)	官公署連絡会議、夜間パトロール

■ごみの収集日 (8月～9月)

8月	20日(火)	もえるゴミ
	22日(木)	ビン類・プラ製容器包装
	27日(火)	もえるゴミ
9月	3日(火)	もえるゴミ
	5日(木)	もえないゴミ・粗大ゴミ
	10日(火)	もえるゴミ
	12日(木)	紙類・プラ製容器包装
	17日(火)	もえるゴミ
	19日(木)	缶類・ペットボトル
	26日(木)	ビン類・プラ製容器包装

有害ごみ(蛍光灯、乾電池)は地区センターへ
白熱電球、LEDは燃えないゴミです。
一升瓶は販売店へお願いします。

自分で作る確定申告書講習会

9月27日(金) 午前10時開催 希望者募集

国税庁が提供するオンライン申告書作成サービスは、インターネットを通じて誰でも簡単に申告書を作成できる便利なシステムです。自宅やオフィスから24時間いつでも利用可能です。また、データの入力ミスを防ぐ機能も充実しているため安心して利用できます。

このサービスでは、作成した申告書そのまま印刷して郵送することが可能です。オンラインでの提出が難しい場合や、紙での提出を希望される方も手軽に利用できる点が大きな魅力です。

釜石税務署の担当者による講習会を9月27日(金)午前10時から上郷地区センターを会場に開催します。先着10名としますので、参加を希望される方は事務局(65-2022)までご連絡ください。締め切りは9月17日(火)午後4時です。皆様のご参加をお待ちしております。



◎国税庁の申告書作成サービスの主な利点

- ・手軽に作成…自宅でオンライン上から簡単に申告書を作成できます。
- ・印刷と郵送…作成した申告書は印刷して郵送することができるため、インターネット提出に不慣れな方でも安心です。
- ・ミスを防止…自動計算や入力内容のチェック機能により、ミスを防ぐことができます。
- ・丁寧なサポート…操作マニュアルやFAQが充実しており、初心者でもスムーズに手続きをすることができます。

上郷村史

上郷町の教育の流れを「上郷村史」より抜き書きし掲載いたします。原文にできる限りあわせ旧仮名遣いにいたしました。

開けり。佐比内には安政年間菊池金十郎、慶應年間佐々木倉藏、明治初年頃朝橋倉七、共に自宅に於て明七八年頃士族橋(名不明)と言へる人菊池長八宅に於て、それぞれ私塾を開けり。又醫師鈴木祐仙は安政年間にその子秀琢は明治初年頃、自宅に於て子弟を教育せり。

■寺小屋時代
安政年間に平野原宮澤長兵衛宅に士族水越丹左衛門來たり、塵淵には小山(名不明)と言ふ人來りて、それぞれ私塾を開き子弟を教育せしが、明治初年頃至り二人共老体に至り、水越丹左衛門は遠野町の自宅に、小山は氣仙八日町の自宅に歸りたるにより、遠野町の人佐藤利兵衛代りて塵淵に來り私塾を開けり。又此の頃宇南林奥寺廣治宅に末崎(名不明)と言へる人同じく私塾を開きたり。

板澤にては士族末崎新左衛門明治初年頃より曹源寺にありて私塾を開きしが、後大槌の人岩間祖苗代りて子弟を教育せり。此の人後には板澤小學校及平倉小學校の教師も勤めたり。來内には私塾なく、此の地の者多くは遠野町目澤宮藏宅に行き教を乞へりと。

東細越には安政年間に佐々木清作、明治初年頃中山悦人(山伏觀明院)共に自宅に私塾を開き子弟を教育しぬたり。西細越には明治初年頃、和尚及川興宗慶雲寺に於て、士族新田勇、佐々木彦兵衛宅に於て、新田清見(山伏万寶院)自宅に於て、それぞれ子弟を教育しぬたりしが、明治五六年頃士族小笠増治も坂本宇吉宅に來り私塾を

一般に此の時代の教育は全く程度低く、父兄も又知識の高きを要求せず、ただ日常使用する文字を読み書きする程度にて満足し、學問を多くすると怠者になると長年月勉學するを許さず、普通成績の如何にかかはらず二三年にして廢學させ、五ヶ年も通學する者殆どなかりきといふ。従つて子弟の入學も少く一塾たいてい二三十人位なりきと。